

WHITE PAPER

ver 1.0 _ JP



01

はじめに

ミッションとビジョンの声明
プロジェクトまたはサービスの概要
存在意義
ソリューションとSyFuが想像する価値

02

SyFu Gameについて

ゲームの概要
ユーザー体験の流れ

03

MANEKINEKO NFTの特徴

MANEKINEKO NFT概要
成長と育成
MANEKINEKO Genesisについて

04

トークノミクス

トークン概要
SyFuトークン (SyFu Governance Token)
Ingame Token (ゲーム内トークン)
EVT (Excavation Token)

05

Breedingプログラムの概要

Breedプログラム概要
血統について

06

長期的なトークノミクスとエコシステム

Game
WEB3finance
外部機関へのソリューション

07

マーケットプレイス

08

決済データと特許について

09

SyFuチームについて

10

ロードマップ

免責事項

1. はじめに

ミッションとビジョンの声明

SyFuプロジェクトの主な目的は、日常の消費行動から生じる決済データをデジタル資産へと転換し、経済貢献を可視化する新しい金融エコシステムを構築することにあります。そして、この可視化された経済貢献をデジタル資産として消費者が理解し、認識できる社会を実現することを目指しています。

SyFuのビジョンは、個々の消費者が日常生活で行う消費行動が単なる消費に留まらず、経済貢献としての価値を「デジタル資産」として残す世界を創り出すことにあります。消費体験を向上させ、地域社会や世界経済への貢献を可能にする「未来のお財布」を目指します。

プロジェクトまたはサービスの概要

SyFuは、決済データをデジタル資産に転換するGameFi（ゲームファイナンス）機能を備えたWeb3ウォレットです。このウォレットは、デジタル資産の保有・管理から消費体験の向上に至るまで、包括的なサービスを提供します。

この先進的なWeb3ウォレットサービスは、現代の消費活動を通じて生み出される経済貢献をデジタル資産化し、利用者に新たな価値をもたらすことを目指しています。日本の伝統的な「招き猫」をモチーフにしたMANEKINEKO NFTを用いることで、世界中のユーザーの消費活動が経済貢献につながります。

経済貢献を証明する決済データを用いてMANEKINEKO NFTを育成し、トークンやNFTを獲得できる育成型ゲームを通じて、消費体験を向上させ、地域社会や世界経済の成長に貢献するプロジェクトです。

存在意義

日々の経済活動による消費は世界経済に大きな影響を及ぼしています。パンデミックによる世界各国の消費抑制が、世界のGDPを3.4%以上減少させたことが、その影響の大きさを証明しています。しかし、多くの消費者は日常の買い物や食事など、

自身の消費活動が経済にどのように貢献しているかを実感しにくい状態にあります。

今後の世界経済成長において、この体験の不足は大きな課題となっており、その解決は消費の活性化に大きく貢献します。また、国によっては貯蓄額に対する消費の少なさが国家的な課題となっています。

人々は年収額や納税額、資産を証明することが可能ですが、消費による経済貢献を証明する手段はこれまで存在しませんでした。キャッシュレス化の進展により、決済データを通じた「経済貢献」の証明が可能になりました。

ソリューションとSyFuが創造する価値

・経済貢献を実感できるGameFi

SyFuのGameFiでは、「招き猫」をモデルとした3Dキャラクター

「MANEKINEKO」NFTを、日常の食事や買い物におけるキャッシュレス決済データを用いてレベルアップさせることで、デジタル資産（トークン・NFT）を獲得できます。さらに、これらのデジタル資産は取引も可能です。「MANEKINEKO」の成長はユーザーの経済貢献（支払いデータ）に直接影響されます。GameFiを通じて、ユーザーは自分の消費行動が「何かを育てる」という形で具体化されることにより、経済貢献を実感することができます。

・WEB3時代における個人の新しいレピュテーション

SyFuウォレットは、GameFiを利用してユーザーの経済貢献度をNFT（SBT）として可視化し、個人が所有可能にします。このNFTは、個々のユーザーが社会や経済にどれだけ貢献しているかを示す、新しい形の「信用スコア」となります。

この革新的なアプローチによって、SyFuは信用評価における新たな基準を確立し、分散化された透明性と公平性を備えた信用社会の実現を目指します。従来の信用スコアや評価システムが特定の機関によって管理されていたのとは対照的に、SyFuはこの権利をユーザー個人に移譲し、信用の真の民主化を追求します。

・新しいWEB3ウォレットの体験

SyFuは従来のウォレットの使用上の難しさを解消し、各国の規制に遵守する、国際特許申請中のノンカストディアルウォレットを提供します。このウォレットは、デジタル資産の運用（DEX/ステーキング）から実世界での支払い（暗号資産決済）に至るまで、一貫したサービスを提供します。

・企業とユーザーを繋ぐ新たな架け橋

SyFuのノンカストディアルウォレットは、企業とユーザー間で新しい関係性を構築します。

SyFuは、「決済×NFT」技術を利用したNFT as a Service（NaaS）やイーネーブラ型でのウォレット提供を通して、企業のWeb3の導入をサポートします。これにより、企業はWeb3技術を効率的に活用し、Web3ベースのロイヤリティマーケティングや、企業が持つブランド価値をデジタル資産に転換する新しいビジネスモデルを実現することが可能になります。

世界経済への影響は、個々人の日々の消費活動から大きく生じております。特に、パンデミックに伴う消費の抑制が世界各国で見られ、それが世界のGDPの3.4%減少という形でその影響の大きさを物語っております。一方で、普段の買い物や食事を通じて、自分自身の経済への貢献度を実感することは、多くの人にとって難しい課題となっています。

今後の世界経済成長において、この体験の不足は大きな課題となっており、その解決は消費の活性化に大きく貢献します。また、国によっては貯蓄額に対する消費の少なさが国家的な課題となっています。

人々は年収額や納税額、資産を証明することが可能ですが、消費による経済貢献を証明する手段はこれまで存在しませんでした。キャッシュレス化の進展により、決済データを通じた「経済貢献」の証明が可能になりました。

2. SyFu Gameについて

ゲームの概要

SyFuでは、日常の消費活動を通じて決済データによる経済貢献を証明することにより、トークンやNFTなどのデジタル資産を獲得できます。

この経済貢献は、MANEKINEKO NFTの育成やアカウントスコアの向上にも繋がります。

MANEKINEKO NFTの成長によるパラメータの向上やアカウントスコアの上昇は、デジタル資産獲得への貢献度を高めます。

ユーザー体験の流れ

1. MANEKINEKO NFTの購入
2. MANEKINEKO NFTを保持し、指定されたジャンルのリアル店舗でチェックインを行い、デジタル鞆を獲得します。
3. チェックインした店舗で商品の購入やサービスの利用、決済を行います。＊決済を行う前にチェックインをしてください。
4. 後日、キャッシュレス決済のデータがSyFuアプリに取り込まれます。＊決済データが取り込まれるまでの時間は、キャッシュレス事業者によって異なります。
5. チェックインで獲得した鞆と対象の決済データをBIND（紐付け）します。
＊SyFuでは、チェックインデータと決済データを紐付ける行為を「BIND」と呼びます。
6. BINDが成功すると、デジタル鞆が開封され、デジタル資産が獲得されます。

USEREXPERIENCE-1



Game TOP



チェックイン



デジタル鞆獲得

USEREXPERIENCE-2



決済データ取込み



消費データ紐付け



BIND

チェックイン可能な店舗ジャンル

SyFuでは、サービスローンチ時点でリアル店舗および店舗内での決済がチェックインの対象となります。チェックイン対象の店舗はGoogle Placeの情報を基に選定されるため、Google Placeに未登録の店舗は対象外です。オンライン決済やECサイトでの取引はチェックインの対象外となりますが、将来的に対象ジャンルの拡張が検討されています。

対象となるジャンル（2024年2月12日現在）

- レストラン
- カフェ
- コンビニ
- 本屋
- 薬局
- ガソリンスタンド
- ショッピング
- ファッション
- ビューティー
- スパ
- 医療
- 映画館
- 観光/レジャー
- 宿泊
- パーキング
- その他

対象ジャンルは上記を参考にしており、Google Placeの登録状況や地域による特殊条件によって変動する可能性があります。アプリ内で表示されるチェックイン候補の店舗が対象です。

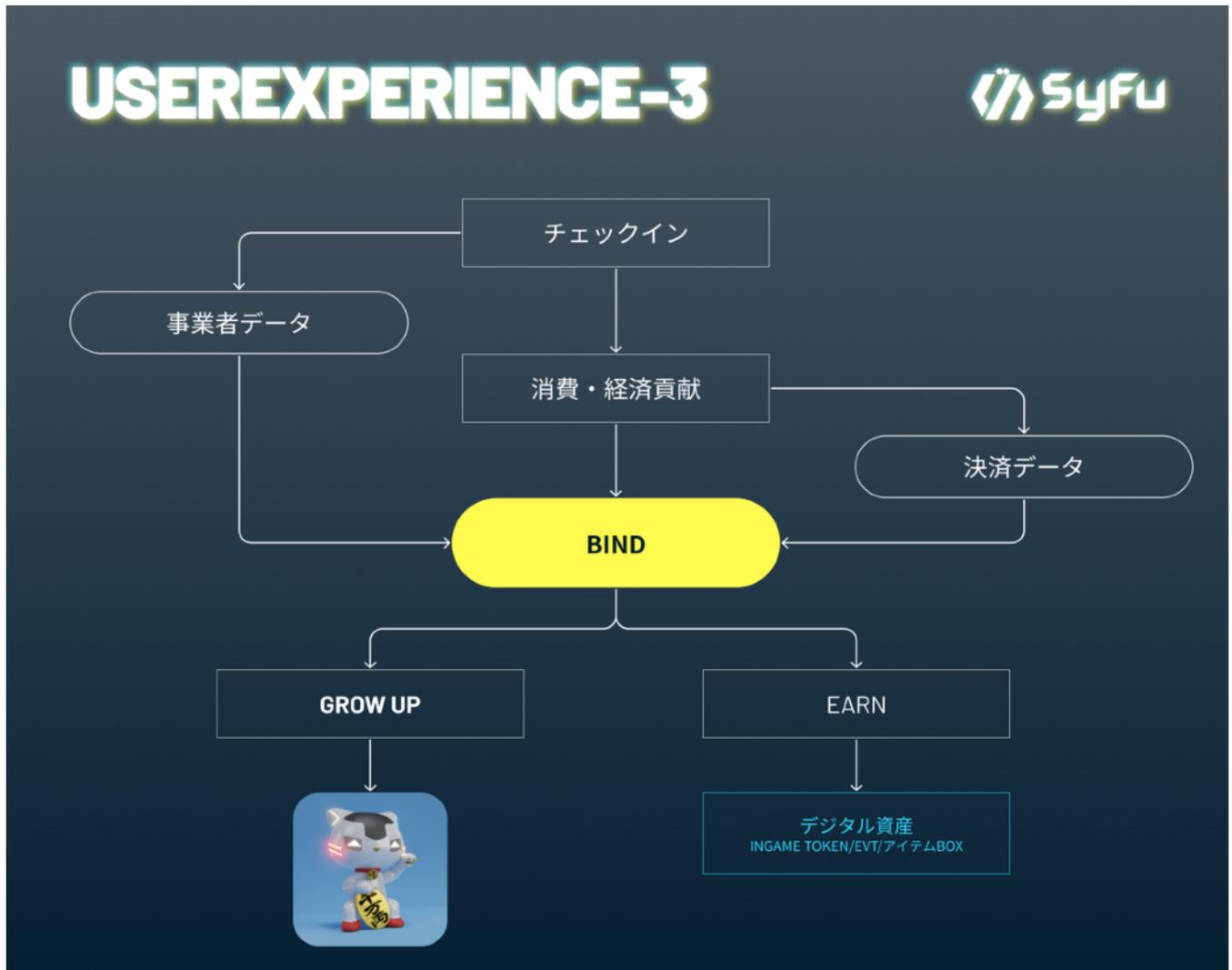
チェックイン回数制限

24時間内に可能なチェックイン回数には上限が設けられており、その上限は保有するMANEKINEKOの数やレアリティによって異なります。

獲得できるデジタル資産

- **Ingame Token（ゲーム内トークン）**：MANEKINEKOの保有数、経済貢献金額、アカウントスコアに応じて獲得量が変動します。

- **EVT (Excavation Token : 発掘トークン)** : 同じく、MANEKINEKOのパラメーター、経済貢献金額、アカウントスコアによって獲得量が変わります。
- **アイテムBOX**: Breedに必要なアイテムなどが含まれます。



3. MANEKINEKO NFTの特徴

MANEKINEKO NFTについて

MANEKINEKO NFTはSyFuエコシステムの中核をなすデジタルアセットです。無限発行型と限定発行型があり、経済活動を支えます。

- MANEKINEKO NFTは、無限に発行可能なタイプと、上限発行量（3120）を持つMANEKINEKO Genesis（MNG）の2種類があります。
- MANEKINEKO Genesisは、イーサリアムチェーン上でERC-721規格に基づいて発行されます。
- 今後、MANEKINEKO NFTはEVM（Ethereum Virtual Machine）互換のブロックチェーン上で発行される予定です。
- MANEKINEKO NFTはジェネラティブNFTであり、ボディカラーや衣装の種類がそれぞれ異なるため、各NFTは唯一無二の存在となります。
- MANEKINEKOは複数のレアリティレベル（3段階以上）を持ち、レアリティによってNFTのパラメータが異なります。
- MANEKINEKO NFTには、Breed（繁殖）が可能な回数に上限が設けられています。



MANEKINEKOの成長と育成

MANEKINEKOはユーザーの活動に応じて成長し、パラメーター向上に寄与します。

- MANEKINEKOは、「Pod」、「Mini」、「Prime」という3つの段階でダイナミックに成長します。
- 最初は「Pod」として誕生し、ユーザーの経済貢献とIngame Tokenを使用して育成し、次の段階へと成長させることができます。
- MANEKINEKOの成長段階「Pod」、「Mini」、「Prime」に応じて、獲得できるデジタル資産の種類や量が変化します。
- 定期的なメンテナンスやケアが必要であり、これにはIngame Tokenを消費する必要があります。
- MANEKINEKOには寿命が設定されていますが、寿命を延ばす方法も提供されています。



Pod
First Generation



Mini
Second Generation



Prime
Third Generation

MANEKINEKO Genesisについて

MANEKINEKO Genesisは限定発行NFTで、特別な権利やゲーム内での希少性を持ちます。

アロケーション

- **総発行量:** 3120
上限発行数です。

- チーム・KOL: 312

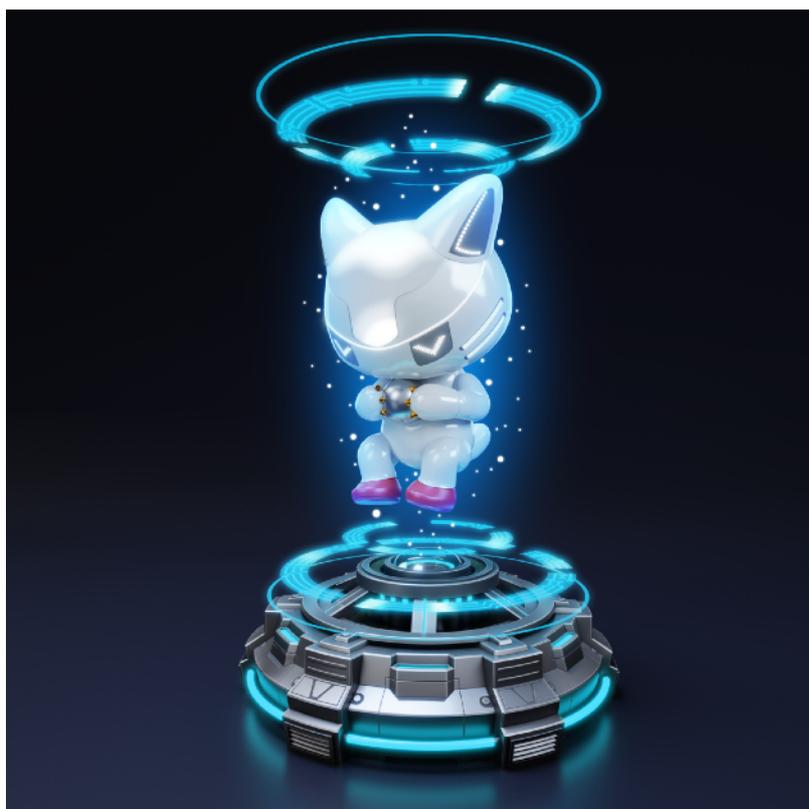
SyFuエコシステムに対する長期的な貢献を目的としたチームやKOLへの配分です。

- コミュニティ供給量: 2808

「SyFu 2024 Q1 Exclusive Mint」での供給量です。2024年Q1の非供給量分は、プロジェクトの進捗に応じて段階的に配布されます。2024年Q1以降、GenesisはMANEKINEKO NFT総発行量の5%以下に抑えられる予定です。

MANEKINEKO Genesisの詳細

- **非公開Discordコミュニティアクセス:** 今後Discordがオープン化された後に設立される予定の、非公開Discordコミュニティ「Genesis Alliance」へのアクセス権を提供します。
- **Breedingプログラムでの役割:** Genesisは、Breedingプログラムの中で希少性の高い血統となり、MANEKINEKO NFTの希少性を高める重要な役割を果たします。
- **プロダクトローンチフェーズイベント:** Genesis保有者には、今後のプロダクトローンチの各フェーズで様々なイベントが発生する可能性があります。
- **継続的な役割:** Genesisは、SyFuのGameFiエコシステムの中で継続的に重要な役割を担います。

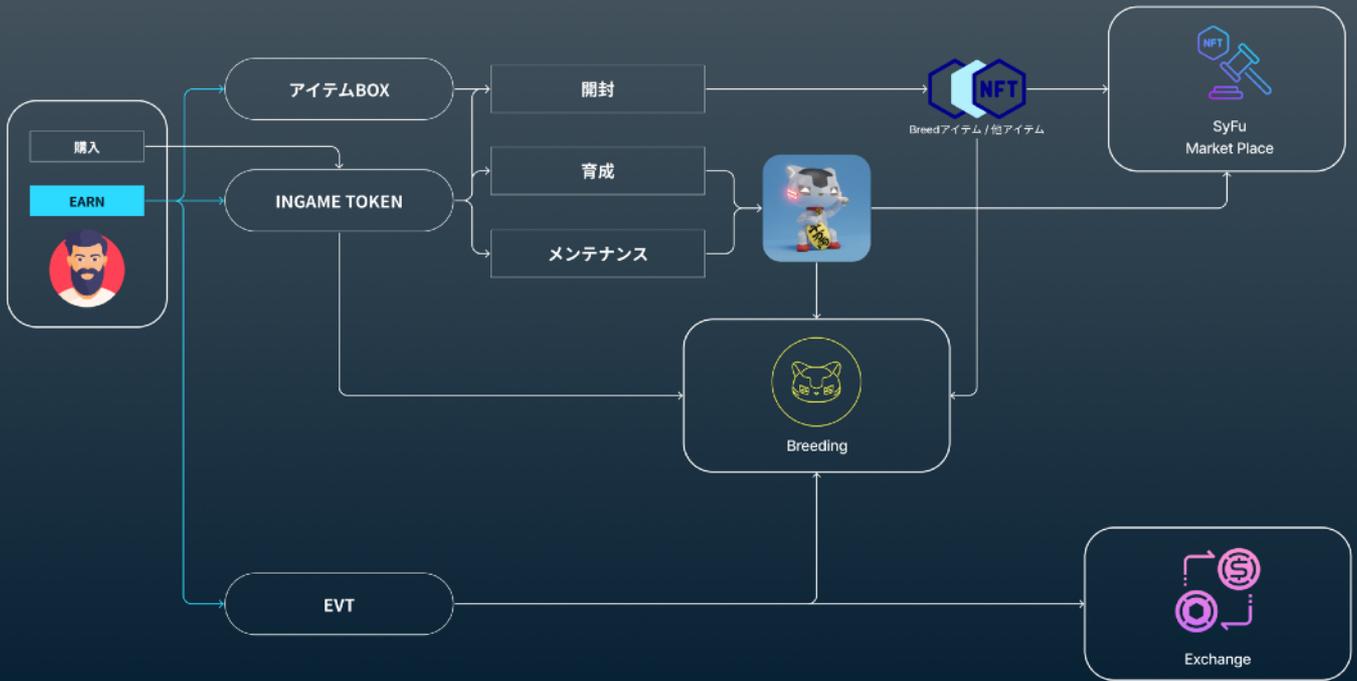


4. トークノミクス

SyFuはデュアルトークンシステムを採用しており、SyFuトークン、EVTの2種類のオンチェーン上に存在するトークン及び、ゲーム内でのみ存在するIngame Tokenがあります。

トークンについて

- **デュアルトークンシステム:** SyFuはデュアルトークンシステムを採用しており、発掘型トークンのEVT (Excavation Token) とガバナンストークンのSyFuトークン (SyFu Governance Token) を含みます。
 - **SyFuトークン:** オンチェーン上に存在し、DEXやCEXで取引可能なガバナンストークンです。SyFuエコシステムへの貢献に基づいて分配され、デジタル資産の長期保有やマーケットプレイスでの取引量などが貢献に含まれます。
 - **EVT:** オンチェーン上に存在し、DEXで取引可能な半有限発行型トークンです。発掘可能なEVTの量は世界の事業者数と埋められているEVT数量によって決まり、一定基準以上の経済貢献がある店舗でのみ発掘が可能です。EVTは、チェックインデータと決済データをBINDすることで発掘され、MANEKINEKOの原材料としてBreedに必要です。使用されたEVTはスマートコントラクト内でロックされ、市場での流通供給量を減少させます。また、MANEKINEKOをEVTに戻すことができ、その際にはアイテムとIngame Tokenが必要となり、手数料が10%～15%かかります。戻されたMANEKINEKOは焼却され、手数料の一部はSyFuトレジャリーに入ります。
 - **Ingame Token:** ゲーム内でのみ存在し、経済貢献 (BIND) 、SyFu Pay決済での還元、Discordコミュニティでの活動を通じて獲得できます。これらはクレジットカードや暗号資産で購入が可能で、アイテムBOXの開封、MANEKINEKOの育成やメンテナンス、Breedに使用されます。今後もSyFuのGame内で利用箇所は増加する予定です。



EVTとMANEKINEKOの経済システム

- **EVTの有限性と発掘の難易度**

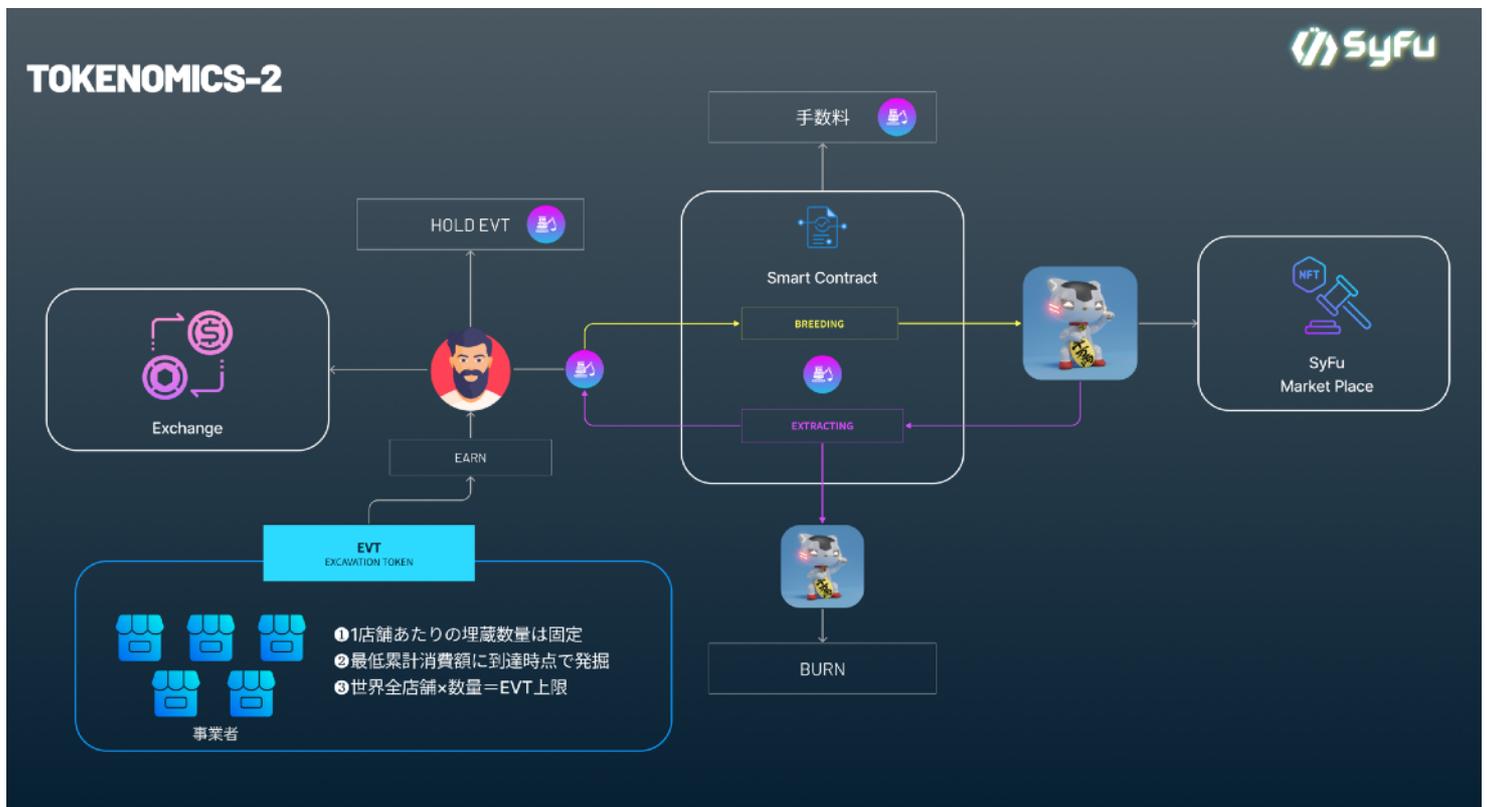
ユーザーは、世界中の対象事業者数に対して決められたEVTの量以上にEVTを発掘することはできません。この制限により、MANEKINEKOの価値はEVTの希少性と密接に連動します。EVTは、世界の事業者数に基づき、石油や金のように実質的に有限のトークンとなります。時間が経過するにつれて、世界中のユーザーによるEVTの発掘が進み、まだ発掘されていない店舗の数が減少するため、発掘の難易度が高まります。

- **MANEKINEKOの価値とEVTの関係性**

Breedプロセスにおいて新しいMANEKINEKOを生成するためにはEVTが原材料として必要となり、その結果、EVTの総発行量とMANEKINEKOの総発行量は強い相関関係を持ちます。このトークン設計により、MANEKINEKOの発行量が増加するほどEVTの市場での流通供給量は減少し、逆にMANEKINEKOがEVTに戻されるとEVTの流通供給量が増加します。

このようにして、EVTとMANEKINEKO NFTの価値、需要、供給のバランスが相互に影響し合います。EVTやMANEKINEKOの長期保有は、エコシステムへの貢献と見なされ、SyFuトークン報酬の発生に繋がります。従来の無限発行設計では見られ

た、ゲーム内のNFTやユーティリティトークンの過剰供給や、需給バランスの変動による価格変動の問題が、この設計により緩和されます。



5. Breedingプログラムの概要

Breedingプログラムでは、新たなMANEKINEKOを生成できます。特定のアイテム、トークンが必要であり、血統概念が導入されています。

MANEKINEKOの新たな誕生

- **Breedプロセス:** Breedを通じて、新たなMANEKINEKOが誕生します。
- **必要な要素:** 新しいMANEKINEKOを生成するためには、2体のMANEKINEKO、2つのBreedアイテム、Ingame Token、そしてEVTが必要です。
- **対象レアリティ:** Uncommon以上のレアリティを持つMANEKINEKOのみがBreedに使用できます（Commonは対象外）。

Breedアルゴリズムとレアリティ

- **レアリティの決定:** 新たに生まれるMANEKINEKOのレアリティは、Breedアルゴリズムに基づいて決定されます。このアルゴリズムは、Breedに使われる2体のMANEKINEKOのレアリティ、経済貢献値、血統を考慮します。
- **血統の影響:** 特殊な血統（例えば「Genesis」）を持つMANEKINEKOをBreedに使用する場合、より高いレアリティのMANEKINEKOが誕生する可能性が高まります。

血統に関する詳細

血統の定義

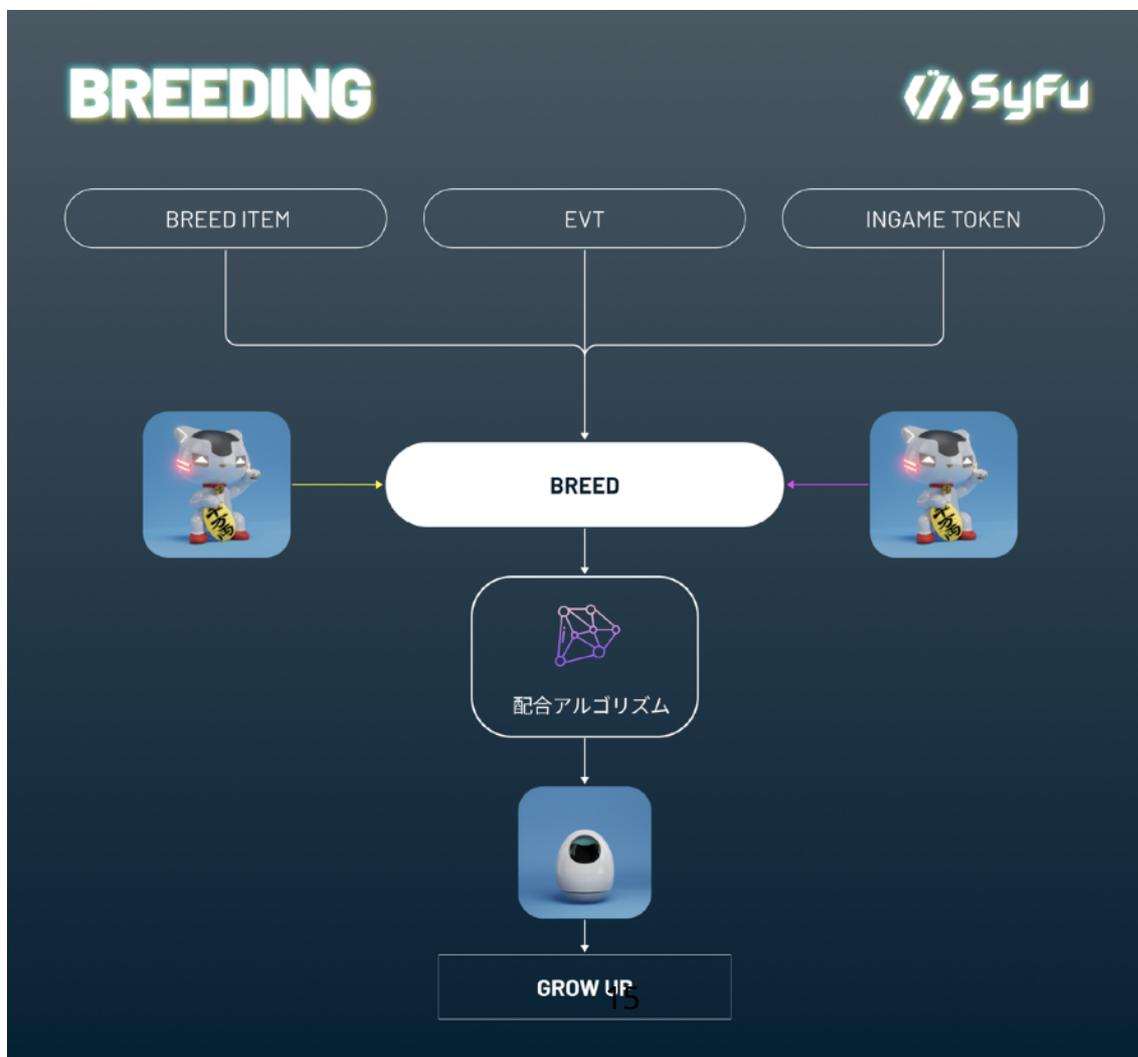
- **血統の範囲:** SyFuでは「血統」は、Breedに使用される2体のMANEKINEKOだけでなく、それらの先祖である2世代以上前のMANEKINEKOも含む概念です。

血統の種類

- **インブリード:** 血統が近い個体同士のBreedを指し、特定の特性を強化または保持することが可能になります。しかし、同じ親を共有する1世代目のMANEKINEKO同士のような、強いインブリードはリスクを伴う可能性があります。
- **アウトブリード:** 血統の関連性が低い個体間でのBreedを指し、遺伝的多様性を高めることができます。

血統の影響

- 血統によって、Breedから生まれる新しいMANEKINEKOの特性やレアリティが影響を受けます。インブリードは特定の特性を強化する可能性がありますが、過度なインブリードは遺伝的問題を引き起こすリスクもあります。一方、アウトブリードは遺伝的多様性を促進し、リスクの低いMANEKINEKOの誕生に寄与することが期待されます。



MANEKINEKOの供給バランスについて

エコシステムの課題

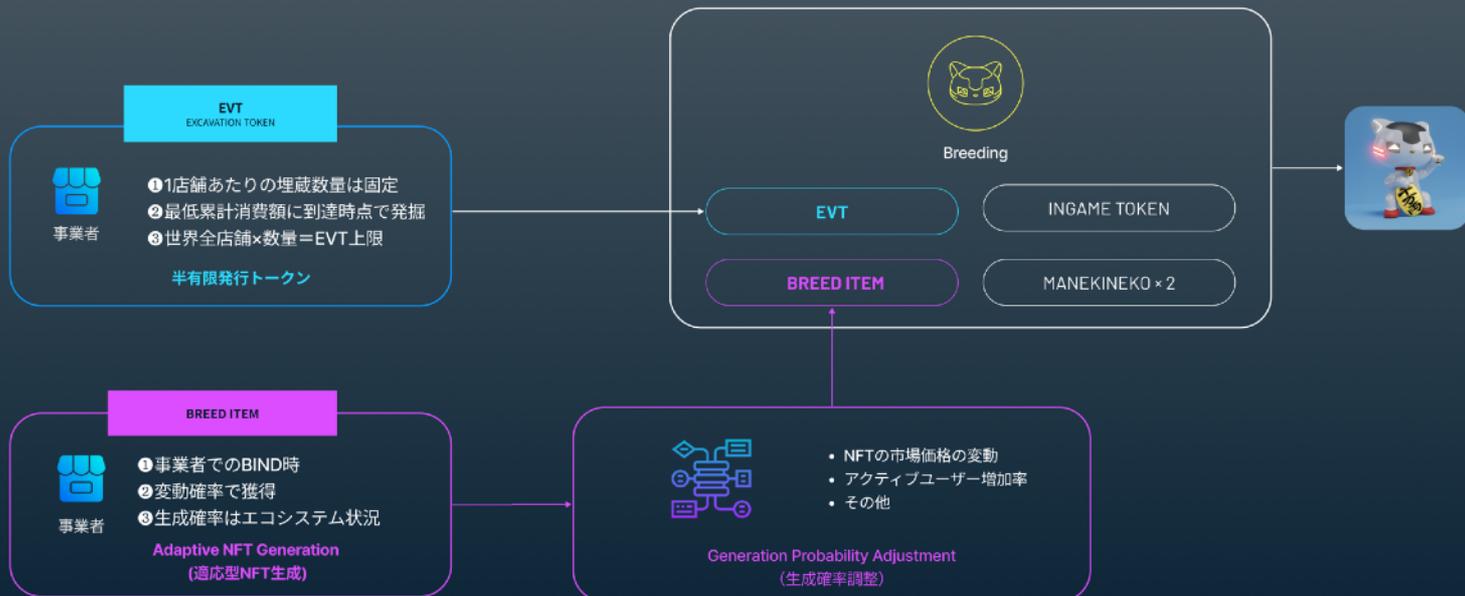
WEB3ゲームにおいては、ユーティリティトークンだけでなく、NFTの供給量の急速な増加によってエコシステムが崩壊するリスクがあります。このような状況を防ぐため、SyFuはBreedプログラムにおいて必須となる「Breedアイテム」の生成確率を調整する適応型NFT生成（Adaptive NFT Generation）の仕組みを提唱し導入しています。

適応型NFT生成（Adaptive NFT Generation）の重要性

- **課題の根本:** 一般的なWEB3ゲームでは、ユーザー数の急増に伴う需要の急上昇がNFT価格の急騰を引き起こし、その結果、バブルが発生し価値の暴落によってエコシステムが崩壊するリスクがあります。
- **価値変動の自然性:** デジタル資産はその性質上、価値が変動するものですが、需給バランスが崩れることによる急激な価値変動はエコシステムに悪影響を及ぼします。
- **適応型NFT生成の役割:** 適応型NFT生成は、NFTの市場価格やアクティブユーザーの増加率などの指標を基に、Breedアイテムの生成確率を調整することで、MANEKINEKO NFTの供給を適切に管理し、エコシステムの健全性を維持する役割を果たします。

この仕組みにより、SyFuはNFTの供給と需給バランスの安定を図り、エコシステムの持続可能性を高めることを目指しています。

MANEKINEKO SUPPLY BALANCE



6. 長期的なトークノミクス及びエコシステムについて

SyFuプロジェクトは、ゲーム、ファイナンス、ウォレットの3つの主要要素で構成されています。このプロジェクトの長期的なトークノミクスは、ゲームの利用だけでなく、ゲーム利用者による価値の創造や外部機関からの価値流入を通じて、広範なインフラを築きます。

1. ゲーム

- ゲームから生じる収益の一部は、デジタル資産のバイバックに利用されます。このプロセスにより、ゲーム内エコノミーの持続可能性と成長を促進します。

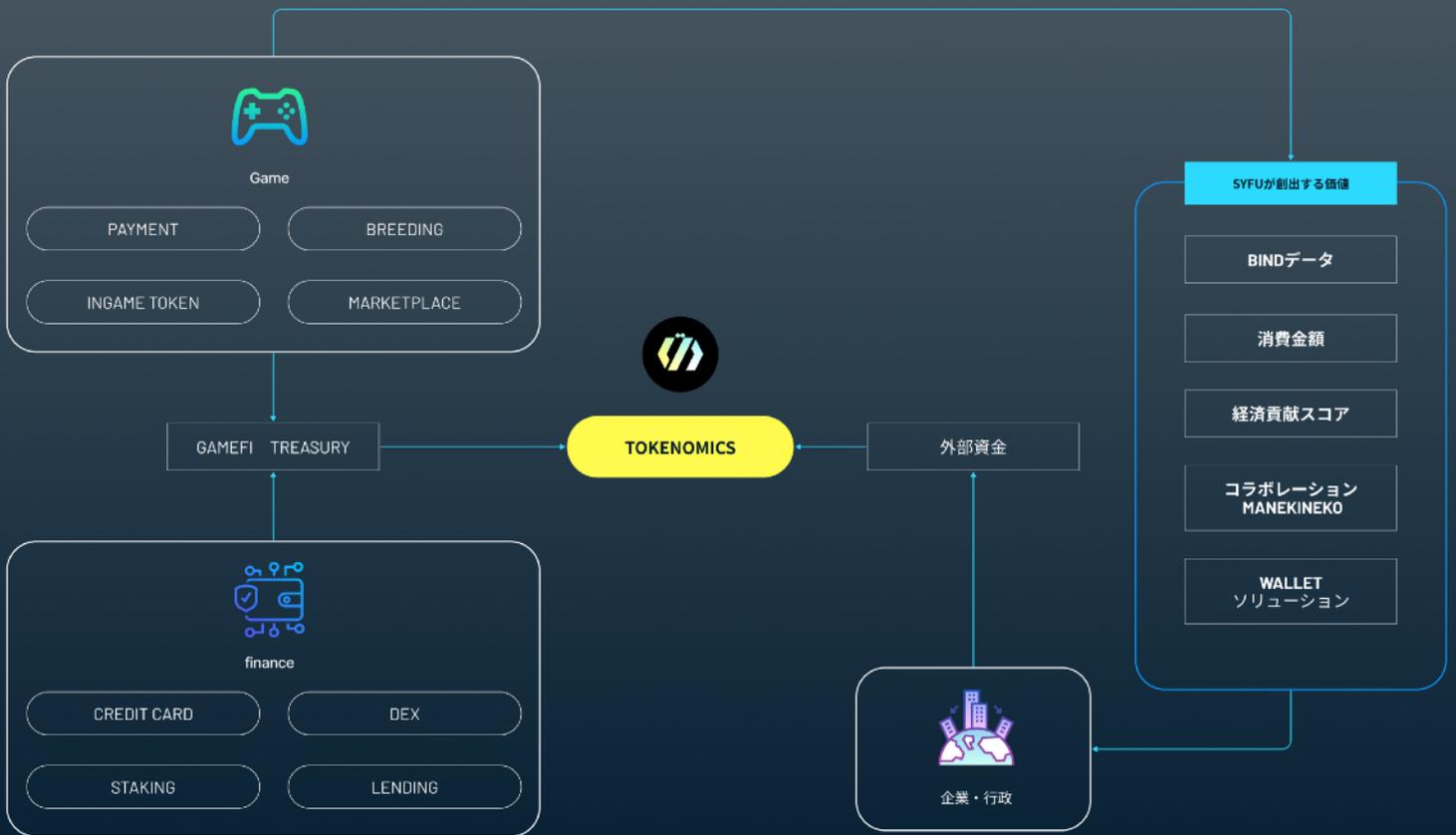
2. WEB3ファイナンス

- ユーザーが保有する暗号資産や獲得したトークンを使用、運用、交換できる多様なファイナンスサービスを提供します。これにはDEX（分散型取引所）、決済ソリューション、ステーキング、レンディング等が含まれ、ここで生じる収益の一部はSyFuトークンのバイバックに充てられます。

3. 外部機関へのソリューション

- ブランド企業や行政機関とのコラボレーションによるMANEKINEKOの利用、ウォレットやNFT×決済データの統合を通じた事業者向けソリューションの提供など、SyFuのエコシステムやインフラを実世界のビジネスに提供します。これにより、外部からの価値流入を促進し、エコシステム全体の拡張と強化を図ります。

これらの要素は、SyFuプロジェクトの長期的な成功と持続可能性を支える基盤となります。各セクションの詳細は、将来的に公開される予定です。



7. マーケットプレイス

Syfuマーケットプレイスでは、MANEKINEKOやアイテムなど、様々なNFTを売買することができます。取引金額の8%がプラットフォーム手数料（ロイヤリティ手数料を含む）として設定されており、この手数料の一部はSyFuのデジタル資産のバイバックに使用されます。

8. 決済データと特許について

SyFuでは、世界各国のユーザーが利用するキャッシュレスサービスの決済データを取り込むためのパートナーシップ戦略に注力しています。この取り組みの詳細は、近い将来に公開される予定です。

SyFuに関連する特許情報の詳細については、後日改めて発表されます。

9. SyFuチームについて

SyFuチームは、Eat to Earn型のグルメSNSアプリ「シンクロライフ（現在はライブドアグルメ）」の開発・運営を約6年間行ってきました。2018年に独自のトークンを発行し、レビュー投稿に対するトークン報酬を約5年間にわたって配布し、グルメコミュニティを拡大させてきました。2023年4月1日にライブドア社に事業を譲渡した後、リアル経済にインパクトを与えるWeb3プロダクトに挑戦すべくSyFuプロジェクトを開始しました。SyFuチームはブロックチェーンを活用したグローバルなトークンインセンティブ設計、レギュレーション、ファイナンス、プロダクト開発、社会実装において豊富な経験と知見を持つメンバーで構成されています。

10. ロードマップ

SyFuプロジェクトの成長と展開を示すロードマップは、以下の通りです。市場の変化や外部環境等への柔軟な対応を行うため、現段階で時期は指定いたしません。

優先順位も日々変化する可能性があります。

- **MANEKINEKO GenesisのMint:** MANEKINEKO Genesisシリーズのミントを行います。
- **テストα版プロダクト公開（クローズド）:** 初期のテストフェーズとして、初期コミュニティのみを対象にα版プロダクトをクローズド環境で公開します。

- **MANEKINEKO NFTプレセール:** MANEKINEKO NFTのプレセールを実施します。
- **テストβ版プロダクト公開（クローズド）:** 更なる改良を経て、テストネットにてトークンの配布を開始。育成やEarn体験が実装されたβ版プロダクトをNFT保有者限定で提供します。
- **オープンβ版プロダクト公開:** プロダクトのオープンβ版を一般公開し、広範囲のユーザーフィードバックを集めます。
- **EVTのリスティング:** Excavation Token（EVT）を主要な暗号資産取引所にリスティングします。
- **世界各国決済データ連携対応:** さまざまな国の決済データとの連携を実現し、グローバルな対応を拡大します。
- **SyFuトークンのリスティング:** SyFuトークンを暗号資産取引所にリスティングし、取引可能にします。
- **コラボレーションMANEKINEKO拡大:** さまざまなブランドや企業とのコラボレーションによるMANEKINEKOのバリエーションを拡大します。
- **企業向けウォレット提供:** 企業向けに特化したウォレットソリューションを提供し、ビジネスのWEB3導入を支援します。
- **WEB3ファイナンスサービス実装:** 分散型金融（DeFi）サービスをはじめとするWEB3ファイナンスサービスを実装し、プラットフォームの機能を拡張します。

免責事項

本ホワイトペーパーは、情報提供の目的のみで提供されています。本書類に含まれる情報は法的義務を生じさせるものではなく、特定の目的に対する適合性の保証を含め、いかなる保証も伴わないものです。SyFuプロジェクトチームは、本ホワイトペーパーに記載された情報の正確性や完全性に関して、明示的または暗示的な保証を一切行いません。またこのホワイトペーパーの情報は、特定の管轄区域の法的要件に合わせて調整されたものではなく、そのように解釈されるべきではありません。このホワイトペーパーは、いかなる規制当局によってもレビューされていません。

このホワイトペーパーは、2024年2月19日現在で入手可能な情報とSyFuプロジェクトチームの見解を反映しており、予告なしに変更されることがあります。

SyFuプロジェクトや関連する暗号資産への投資は、高いリスクを伴い、投資額の一部または全部を失う可能性があります。投資を行う前に、専門家のアドバイスを受けることを強く推奨します。本ホワイトペーパーのいかなる部分も、SyFuプロジェクトや関連する暗号資産への投資勧誘とみなされるべきではありません。また過去の実績が将来の結果を示すものではありません。

このホワイトペーパーに示された技術、概念、データを含むSyFuプロジェクトに関連するすべての知的財産権は、特に指定がない限り、SyFuプロジェクトチームの排他的財産です。明示的な同意なしにこの資料の無断使用、複製、または配布は厳しく禁じられています。

本ホワイトペーパーの内容をもとにした行動や決定に関して生じた結果について、SyFuプロジェクトチームは一切の責任を負いません。

言語優先

このホワイトペーパーは、英語と日本語の両方で提供されます。法的な解釈や曖昧性が生じた場合には、英語版が優先されます。日本語版は情報提供のみを目的としており、英語版と日本語版の内容に相違がある場合は、英語版の内容が優先されます。このホワイトペーパーの内容に基づいて行動する前に、ユーザーはこの点を認識し、同意したものとみなされます。

Disclaimer

This whitepaper is provided for information purposes only and is not intended to be and does not constitute legal, financial, investment, or other advice, nor does it create any obligations of the SyFu project team or any other party. No representations or warranties are made as to the accuracy or completeness of the

information contained herein, and the SyFu project team expressly disclaims any and all responsibility for any direct or consequential loss or damage of any kind whatsoever arising directly or indirectly from: (i) reliance on any information contained in this document, (ii) any error, omission or inaccuracy in any such information, or (iii) any action resulting therefrom. The information in this whitepaper is not tailored to comply with the legal requirements of any specific jurisdiction and should not be construed as such. This whitepaper has not been reviewed by any regulatory authority.

This whitepaper reflects the SyFu project team's views and information available as of 19.02.2024, and is subject to change without notice.. Investing in SyFu projects and associated cryptocurrencies involves a high degree of risk, including the potential loss of the entire investment. Prospective investors are strongly advised to consult their financial, legal, and other professional advisors before making any investment. Nothing in this whitepaper shall be deemed to constitute a prospectus of any sort or a solicitation for investment, nor does it in any way pertain to an offering or a solicitation of an offer to buy any securities in any jurisdiction. Past performance is not indicative of future results.

All intellectual property rights related to the SyFu project, including but not limited to technologies, concepts, and data presented in this whitepaper, are the exclusive property of the SyFu project team unless otherwise specified. Unauthorized use, reproduction, or distribution of this material without express consent is strictly prohibited.

The SyFu project team shall not be liable for any outcomes resulting from actions or decisions based on the information contained in this whitepaper

Language Priority Notice

This whitepaper is provided in both English and Japanese. In case of any legal interpretation or ambiguity, the English version takes precedence. The Japanese version is for informational purposes only, and in the event of any discrepancy between the English and Japanese versions, the content of the English version shall prevail. Users are understood to have acknowledged and agreed to this point before acting based on the content of this whitepaper.